資料

目黒区障害者自立支援協議会運営要綱の一部改正 新旧対照表

(_____ は、改正点)

改 正 案	現 行 要 綱
(所掌事項) 第2条 協議会は、次に掲げる事項を所掌する。 <u>(1) 目黒区障害者計画の策定に関すること。</u> <u>(2) 障害者等に対する個別の支援や相談事例を基に明らかになった地域の課題（以下「地域課題」という。）の解決策の検討等に関すること。</u> <u>(3) 地域の現状等の情報共有・情報発信に関すること。</u> <u>(4)</u> (現行に同じ。) <u>(5)</u> (現行に同じ。) <u>(6)</u> (現行に同じ。) <u>(7)</u> (現行に同じ。) (組織) 第3条 協議会は、次に掲げる者について区長が委嘱又は任命するおおむね20名程度の委員をもって組織する。 (1)・(2) (現行に同じ。)	(所掌事項) 第2条 協議会は、次に掲げる事項を所掌する。 <u>(1) 困難事例や地域の現状、課題等の情報共有と情報発信に関すること</u> <u>(2)</u> (省略) <u>(3)</u> (省略) <u>(4)</u> (省略) <u>(5)</u> (省略) (組織) 第3条 協議会は、次に掲げる者について区長が委嘱するおおむね20名程度の委員をもって組織する。 (1)・(2) (省略)

(3) 障害福祉サービス事業者等

(4) (現行に同じ。)

(5) 障害当事者又はその家族等

(6) ～ (10) (現行に同じ。)

(11) 基幹相談支援センターの職務に従事する者

(12) 地域生活支援拠点の職務に従事する者

(13) (現行に同じ。)

2 (現行に同じ。)

(会長及び副会長)

第4条 (現行に同じ。)

2 (現行に同じ。)

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(課題検討会議)

第7条 会長は、地域課題の解決策等について具体的な検討を行うため、課題検討会議を開催することができる。

2 課題検討会議の構成員は、会長が地域課題の解決策検討に必要であると

(3) 障害福祉サービス事業者

(4) (省略)

(5) 障害当事者

(6) ～ (10) (省略)

(11) 基幹相談支援センターを管理する者

(12) 地域生活支援拠点に従事する者

(13) 区職員のうち別表に掲げる職にある者

(14) (省略)

2 (省略)

(会長及び副会長)

第4条 (省略)

2 (省略)

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、その職務を代理する。

(運営会議)

第7条 会長は、協議会の運営に関して必要があると認めるときは、運営会議を開催することができる。

2 運営会議の構成員は、会長、副会長、次条に規定する部会長及び第9条

認めたとし、会長が招集する。

(専門部会)

第8条 協議会は、第2条に規定する所掌事項に関する専門的な調査及び研究を行わせるため、必要があると認めるときは、専門部会（以下「部会」という。）を置くことができる。

2 部会に部会長及び副部会長を置き、部会を構成する者（以下「部会員」という。）のうちから互選により定める。

3 部会長は、主に次に掲げる事項を所掌する。

(1) 部会を招集し、部会の事務を総括すること。

(2) 第6項に規定する部会員の取組に加え、課題検討会議等に参画し、地域課題の解決に向けた具体的な検討を行うこと。

(3) 部会における調査及び研究の経過並びに部会の活動実績を協議会等に報告すること。

4 副部会長は、部会長を補佐し、部会長に事故があるときは、その職務を代理する。

5 部会員は、部会長が指名する者及び部会への参加を希望する者のうち部

に定める事務局とし、会長が招集する。

3 会長は、必要があると認めるときは、前項の運営会議の構成員以外の方に出席を求め、意見等を聴くことができる。

(専門部会)

第8条 協議会は、第2条に規定する所掌事項に関する専門的な調査審議を行わせるため、必要があると認めるときは、専門部会（以下「部会」という。）を置くことができる。

2 部会に部会長及び副部会長を置く。

3 部会長は委員の中から会長が指名する。副部会長は、部会長が会長と協議のうえ、部会員の中から指名する。

4 部会長は、部会を招集し、部会の事務を総括し、部会の調査審議の経過及び結果を協議会に報告するものとする。

5 副部会長は、部会長を補佐し、部会長に事故があるとき、その職務を代理する。

6 部会を構成する者（以下「部会員」という。）は、部会長が指名する者

会長が承認した者とする。

6 部会員は、地域課題の抽出とその解決に向けた取組に参画し、目黒区における支援体制の強化、相談支援の質の向上等に努めるものとする。

7・8 (現行に同じ。)

(連絡会)

第9条 協議会は、目黒区の障害福祉を取り巻く状況の把握、情報共有等を図るため、事業、活動内容等の種別に応じた連絡会を設置することができる。

2 連絡会に連絡会長を置き、連絡会を構成する者のうちから互選により定める。

3 連絡会長は、協議会において定期的に活動報告を行う。

(報酬等)

第10条 協議会及び課題検討会議の報酬額及び報償額は、別に定める。

2 委員に支払う費用弁償は、目黒区附属機関の構成員の報酬及び費用弁償に関する条例(昭和31年12月目黒区条例第27号)第4条の規定により取り扱うものとする。

(事務局)

第11条 (現行に同じ。)

及び部会への参加を希望する者のうち部会長が承認した者とする。

7・8 (省略)

(事務局)

第9条 (省略)

(秘密保持)

第12条 委員、課題検討会議の参加者、部会員その他の協議会関係者は、
正当な理由なしに、会議等で取り扱った個人情報その他の職務に関して知
り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。

(委任)

第13条 (現行に同じ。)

(秘密保持)

第10条 委員、部会員その他の協議会関係者は、正当な理由なしに、会議
で取り扱った個人情報その他の職務に関して知り得た秘密を漏らしてはな
らない。その職を退いた後も同様とする。

(委任)

第11条 (省略)

別表 (第3条関係)

<u>健康福祉部保健予防課長</u>
<u>健康福祉部障害施策推進課長</u>
<u>健康福祉部障害者支援課長</u>
<u>子育て支援部子育て支援課長</u>
<u>教育委員会事務局教育支援課長</u>